

デザイン計画概論		講義	選択	2単位
科目類：専門		開設時期：1年後期		
担当教員	渡邊 有一			
履修上の注意	講義と演習をセットで行う。 演習は宿題を前提とするので、作業量が多くなる。			
授業概要	一人よがりにならず、生活者に望まれ、かつ喜んでもらえるデザインを生み出すためには、何をどのように進めていけば良いのか、その考え方と実際のやり方について講義を行う。私たちは、工芸品、家電製品、家具・インテリア用品、住宅、店舗、パッケージ、パンフレット等、デザインされた物や情報や環境に囲まれている。それらは、一体どのようなプロセスや方法（デザイン計画）で作られているのか。様々な事例紹介を交えた講義を通して、デザイン計画の意義と立案手法の基礎を学ぶ。理解を深めるために、授業中に簡単なデザイン計画も立案する。			
授業のねらい	<ol style="list-style-type: none"> 身の回りにあるデザインされた物や環境や情報は、デザイン計画をもとに、様々な人々の熱意と工夫と協力によって成り立っていることを理解する。 デザイン計画を立案し実行する事の楽しさや難しさと社会的意義を理解し、自分なりのデザイン計画に関する意見を述べる事ができる。 デザイン計画の立案手法に関する基礎を理解し、自分で簡単なデザイン計画を立案できる。 			
評価方法	講義のステップごとに提出を求めるワークシートの内容と出席状況			
学生へのメッセージ	楽しい生活シーンを想像してください。例えば、日曜大工で子供の椅子を作る、誕生日のケーキを作る、オリジナルのX'マスカードをパソコンで作る、小鳥も飛来する庭を作る等々。皆が喜ぶ顔を想像しながら、そして財布や時間と相談しながらアイデアを詰め、アイデアを実現するための手順や方法を考えます。それはデザイン計画を立てる事と、とても似ているのです。			

工芸デザイン基礎A	演習	選択必修	2単位
科目類：専門		開設時期：1年後期	

担当教員	芝山 昌也
履修上の注意	提出課題ごとに準備が必要ですので、授業中の連絡事項をよく確認するように。
授業概要	フラットペンシルによるレタリング課題や鉛筆による植物の細密描写を行う。（内容は若干変更する事があります。）
授業のねらい	かたちをよく観察し、正確に描写することを習得する。
評価方法	提出作品の評価，出席状況
学生へのメッセージ	この授業での作品制作は対象物をよく観察し、正確に描写することが大切です。

美学		講義	選択	2単位
科目類：専門		開設時期：1年後期		
担当教員	天貝 義教			
履修上の注意	『国際デザイン史』を教科書に使用する。			
授業概要	本講義では、以下のテーマ取上げてゆく。「美術」という日本語の意味、ウィーン万国博覧会、工部美術学校、『工芸志料』、古代ギリシアのテクネーの概念、ファインアートの概念、カントの『判断力批判』、黄金比、ロマン主義の美の概念等。			
授業のねらい	本講義では、前半では主として、西洋の「美術」概念について明治維新以降の動向を手がかりにしながら考察し、後半では、西洋の美の概念について古代ギリシアから19世紀後半までの主要な議論を紹介し、その今日的意義を考察する。			
評価方法	筆記試験による			
学生へのメッセージ	指定した教科書以外に、授業において紹介する参考図書を活用して、美術ならびに美の概念についての理解を深めるよう努力することを期待する。			

グラフィックデザイン概論		講義	選択	2単位
科目類：専門		開設時期：1年後期		
担当教員	官能 右泰			
履修上の注意	グラフィックデザイン演習を履修するもの			
授業概要	グラフィック・デザインについて、歴史的背景、日本の伝統文化とデザイン、現代デザイン事情、海外デザイン事情に重点を置き、実践現場での制作プロセスにもふれながら授業を展開する。			
授業のねらい	幅広い展開方法や表現技法の歴史的背景を理解させると共に、デザインの現場を通じて、現代デザイン事情について研究・考察させる。			
評価方法	出席・レポートによる総合評価			
学生へのメッセージ	幅広いグラフィックデザインの世界について、実践的な立場で取り組んでください。			

東洋美術史	講義	必修	2単位
科目類：専門		開設時期：1年後期	

担当教員	井上 豪
履修上の注意	授業は一回完結を基本とする。欠席した分は補充がきかないので注意すること。
授業概要	東洋美術の様々なあり方を，仏教美術を中心に読み解いていく。作品のスライドを主に，遺跡の発掘報告や現地の情報なども踏まえ，アジア各地に展開した国際的な文化の広がりをグローバルな視野で見していきたい。
授業のねらい	東洋美術の主軸というべき仏教美術の作品を紹介し，各地の様々な様式や伝播の道筋などについて基礎的な知識を得る。同時に古代美術の「様式」と「形式」，あるいは「変わるもの」と「変わらないもの」について考えを深めていきたい。
評価方法	定期試験に平常点（出席および授業参加態度）を加味して最終評価をする。
学生へのメッセージ	アジアに暮らす我々にとって，東洋美術の世界は逆に馴染みが薄くなっています。しかし，これら「新鮮な」古代美術を知ることは，実は自分たちの無意識を再発見する驚きでもあるのです。

建築デザイン概論		講義	選択	2単位
科目類：専門		開設時期：1年後期		
担当教員	澤田 享・石垣 充			
履修上の注意	テストは授業で使用するレジュメ，ノート等の持ち込み可です。しっかりとノートをとっておくこと。			
授業概要	日本の古建築と空間デザインについて（澤田教授） 西洋建築史・現代建築・都市・環境について（石垣講師）			
授業のねらい	建築・都市に関する基本的な知識を習得する。日本の古建築・現代建築から都市まで，幅広い空間の事例を通し建築・環境デザインの基本を理解する。			
評価方法	レポート（毎回講義時に行います。レポート提出をもって出席とします），テスト（2回行います。追試験はありません），出席状況（5回以上の欠席者は「不可」扱いとする）			
学生へのメッセージ	歴史の中には，新しい次のデザインへの手がかりがあります。その手がかりに気づくのは自分です。講義の中からそれらを見つけてください。			

コンピュータ表現基礎		講義	選択	2単位
科目類：専門基礎		開設時期：1年後期		

担当教員	孔 鎮烈
履修上の注意	Mac OS XとIllustrator及びPhotoshopの基本操作ができれば特に受講の必要なし
授業概要	Mac OS XとIllustrator及びPhotoshopの基本操作の習得
授業のねらい	グラフィックソフトの基本操作について、いくつかのレッスンを同時に行いながら少しずつ慣れていく事を目標とする。
評価方法	出席及びレッスン課題
学生へのメッセージ	必要最小限の基本操作をゆっくりじっくり繰り返しながら少しずつ覚えていきましょう。

プロダクトデザイン概論		講義	選択	2単位
科目類：専門		開設時期：1年後期		
担当教員	五十嵐 潤			
履修上の注意	プロダクトデザイン分野を選択する学生は履修が望ましい。			
授業概要	<p>プロダクトデザインについて、その目的と意義、役割、方法、そして歴史と今日の状況などを概説し、併せてモノのデザインへの取り組みについて事例を交えて講義する。著名なデザイナーの事例を通して、素材と造形の関係を考えることから始め、近代デザインの変遷、デザインと企業活動、今日の状況との関連、そして生活用具の「美しさ」の解釈へと進む。</p>			
授業のねらい	<p>プロダクトデザイン分野への入り口として、造形と機能、表現とその意味などを、素材と技術、社会の変化といった視点から理解し、生活との関わりの中でのモノの有り様とデザインの意味、社会の変化とデザインの考え方、その結果としての表現様式の変遷を学ぶ。</p>			
評価方法	レポート及び出席状況			
学生へのメッセージ	<p>デザインの必要性あるいはあり方を、自身の周辺からとらえ、他者そして社会の問題として考えるきっかけとして欲しい。</p>			